※令和４年度以降入学生用

学校番号	316

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
国際文化	（学）ディベート・ディスカッションB	2	3	Logical English Reading Level 3

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実際にテレビで放送されている生きた英語を聞くことにより、実践的なリスニングの力を鍛えます。また、SDGｓに関わるニュースのトランスクリプトに触れて、時事に即した社会的な問題について、自分の感じたことや意見を授業の中で他者と共有し理解を深めます。社会的な問題を多角的な視点で捉える力を育てます。学期ごとにディスカッションとディベート
の形式を中心に、チームに分かれて議論をします。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	自然な速さの標準的な英語で話されていれば、外国の行事や習慣などを理解することができる。	現代の問題など一般的関心の高いトピックを扱った文章を、時に辞書を使って、相違点を理解しながら読むことができる。	身近なトピック（学校、趣味、将来の希望）について、簡単な英語を使って意見を表明し、情報を交換することができる。	ディベート等で、賛成または反対の理由をあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で行うことができ、質問にもある程度に対応ができる。	物語の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、複数のパラグラフで書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	CAN-DO リストによる「話すこと」について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	CAN-DO リストによる「話すこと」について、場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で適切に伝え合ったりしている。	時事問題に関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。また、他者を尊重し、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Stage 1 “Convenience store” 他	話すこと（やり取り）	a: CNN などのニュース素材から、単語・熟語・表現を理解している。 b: ニュースの話題について、身につけた表現方法を用いて話している。 c: ニュースを通じて、海外の事情や文化の違いを学ぼうとしている。	ディスカッションの様子
	Stage 2 “Plastics” 他	話すこと（やり取り）	a: CNN などのニュース素材から、単語・熟語・表現を理解している。 b: 相手チームの矛盾をうまく、指摘している。 c: ニュースを通じて、海外の事情や文化の違いを学ぼうとしている。	ディベートの原稿・様子
	期末考査			
２学期	Stage 3 “Social Networking” 他	話すこと（やり取り）	a: CNN などのニュース素材から、単語・熟語・表現を理解している。 b: ニュースの話題について、身につけた表現方法を用いて発表している。 c: ニュースを通じて、海外の事情や文化の違いを学ぼうとしている。	ディスカッションの様子
	Stage 4 “Space Development” 他	話すこと（やり取り）	a: CNN などのニュース素材から、単語・熟語・表現を理解している。 b: 相手チームの矛盾をうまく、指摘している。 c: ニュースを通じて、海外の事情や文化の違いを学ぼうとしている。	プレゼンテーション
	期末考査			
３学期	Stage 5 “Basic Income” 他	話すこと（やり取り）	a: CNN などのニュース素材から、単語・熟語・表現を理解している。 b: ニュースの話題について、身につけた表現方法を用いて話し、相手チームに反論できている。 c: ニュースを通じて、海外の事情や文化の違いを学ぼうとしている。	ディベートの原稿様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度